

科目名 (英文表記)	地域経済・経営Ⅱ (北海道でのビジネス創造と地域経営) (Regional Economy and Management Ⅱ)		
科目区分	基礎科目	単位数	2 単位
担当教員名	千葉俊輔 (非常勤講師)	ナンバリング	MBA_C_EM 5221
研究室番号	なし	研究室電話番号	なし
Eメール・アドレス	t-chiba@hamanasu.or.jp		
授業の内容及び方法： 次頁以降に記載			
授業の目的と到達目標： <p>北海道における産業クラスター創造活動と地域活性化に関する具体的なビジネス事例から、地域ビジネスの特徴を理解し、成功するためのポイント等を習得する (産学連携によるビジネス創造から食と観光関連ビジネスまで)。</p> <p>また、地域ビジネスの中には、近年、地域課題をビジネス手法で解決しようとする中間組織 (コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス (CBSB)) が増えており、地域社会にとって重要な役割を担っている。障害者雇用を進めている会社や地方での起業事例などの経営を通して、経営の目的や本質を理解するとともに、CBSB の経営ノウハウを習得する。</p> <p>更には、最近では、人口減少社会の到来とともに、“地域経営”の視点から、自治体とこれら中間組織との連携による地域課題解決や地域活性化の動きが出てきている。道内での地域経営の最近の動きなどから、地域経営の重要性を理解するとともに、RESAS などデータを活用しながら、地域課題の特定とその解決策をアクションプランとして策定する。</p> <p>最終的には、このアクションプランの発表と提出を最終課題とする。本科目を通して、履修者には地域課題をビジネスの手法で解決する術を習得していただきたい。</p>			
使用教材： <p>基本的には、事前に資料を用意し配布するが、次の著書については、講義で使用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 坂本光司著「日本でいちばん大切にしたい会社」 あさ出版 2008 駒崎弘樹著「社会を変えたい人のソーシャルビジネス入門」 PHP新書 2016 枝廣淳子著「地元経済を創りなおす」 岩波新書 2018 			
成績評価の方法： <p>出席、事前事後課題、授業参加、レポート (最終課題) の区分ごとに、合計する。 出席：10% 事前事後課題：30% 授業参加 (ディスカッション・発表)：20% 最終課題：40%</p> <p>評価結果については、請求があれば判定の根拠を本人に開示する。更に、評価に不服のある場合は、不服申し立てをもって教務委員会に申し出ること。</p>			
履修上の注意事項： <p>事前事後の準備は勿論のこと、講義中も積極的に意見を発表すること。講義中における意義ある発言は、授業参加 (ディスカッション) の評価に反映する。</p>			

授業の内容及び方法

モジュール 1		産業クラスターと地域経済の活性化
事前準備	事前に配布の資料を読み、北海道経済と北海道におけるビジネス創造の特徴を理解する。	
第 1 時限	北海道経済の特徴と産業クラスター創造活動について	
<p>授業全体の狙いと内容、最終課題について説明する。また、本時限では、北海道経済の特徴と20年前から進めている産業クラスター創造活動など地域経済活性化の動向について理解する。</p>		
第 2 時限	ビジネス創造のパターンと地域特性に応じたビジネス創造	
<p>ビジネス創造の4つの工程と地域特性に応じたビジネス創造について理解するとともに、それぞれの特徴、成功するためのポイントについて学ぶ。</p>		
復 習	北海道において今後進めるべき（成功する可能性のある）ビジネス創造の分野について論じる（A4版1～2ページ程度）。	

モジュール 2		産学連携を含むワークショップ型のビジネス創造
事前準備	事前に配布の資料を読み、産学連携を含むワークショップ型のビジネス創造の特徴と留意点を理解する。	
第 3 時限	前回の事後課題の発表・意見交換、具体的な産学連携ビジネスの事例紹介	
<p>前回の事後課題の発表とそれに対する意見交換を行うとともに、大規模な産学共同研究からのビジネスづくりの事例として、現在実用化段階に入った「ロボットトラクター」の事例を紹介し、市場やニーズの重要性、知的財産権の取り扱い、コーディネートの役割、技術や製品の応用性などについて学ぶ。</p>		
第 4 時限	ワークショップ型の具体的なビジネス創造の事例紹介	
<p>大学シーズ型、アイデア型、市場ニーズ型、地域資源活用型の様々なワークショップによるビジネス創造の事例から、それぞれの特徴と成功のポイントなどについて理解する。</p>		
復 習	産学連携を含むワークショップ型のビジネス創造を進める上で留意すべき点について論じる（A4版1～2ページ程度）。	

モジュール 3 ビジネスを進める上で留意すべき点と食の付加価値化ビジネス	
事前準備	事前に配布の資料を読み、食の付加価値化ビジネスについて理解しておく。
第 5 時 限	ビジネスを進める上で留意すべき点
<p>前回の事後課題の発表とそれに対する意見交換を行うとともに、「ビジネスを進める上で留意すべき点」について理解を深める。</p>	
第 6 時 限	食の付加価値化ビジネス
<p>北海道の食関連産業の特徴と動向を理解するとともに、食品開発のポイントを学ぶ。合わせて、具体的な食関連プロジェクトから食と地域のブランド化についても学ぶ。</p>	
復 習	特になし

モジュール 4 観光ビジネスと経営の目的	
事前準備	坂本孝司著「日本でいちばん大切にしたい会社」を事前に読み、経営の目的について考察する。また、事前に配布の資料を読み、観光関連ビジネスについても理解しておく。
第 7 時 限	北海道における観光関連ビジネスと地域の観光のあり方
<p>日本と北海道の観光産業・ビジネスの状況と今後の方向性について、具体的な事例を通して理解する。合わせて、北海道の地方観光の新たな動きから、北海道観光ビジネスのあり方を学ぶ。</p>	
第 8 時 限	経営の目的：誰のための経営か？
<p>近年は、CSR経営からSDG s 経営へと株主以外の多くのステークホルダーに配慮した経営が求められている。</p> <p>「日本でいちばん大切にしたい会社」を読み、履修生が何を感じ考えたか意見交換を行うとともに、日本や北海道での「大切にしたい会社」の実例を通して経営の目的について理解を深める。</p>	
復 習	「経営の目的」（経営者として何を大切に経営するか）について論じる（A4版1～2 ページ程度）。

モジュール5		ソーシャルビジネス
事前準備	駒崎弘樹著「社会を変えたい人のソーシャルビジネス入門」を読み、ソーシャルビジネスの意義、創業から経営までのポイントを理解しておく。	
第9時限	ゲストスピーカーによるソーシャルビジネス経営の実際	
ゲストスピーカーによるソーシャルビジネス(障害者を雇用した企業経営と障害者福祉事業)の講義を通して、経営の目的について学ぶ。		
第10時限	特例子会社の経営とソーシャルビジネスのポイント	
前回の宿題(経営の目的)についての発表と意見交換を通して、各履修生の経営に関する理解を深めるとともに、講師の障害者特例子会社の経営体験、具体的なソーシャルビジネスの事例などから、ソーシャルビジネスの意義、成功するための重要なポイントについて学ぶ。		
復習	身近な課題解決のためのソーシャルビジネスプラン(概要)をまとめる(A4版1~2ページ程度)。	

モジュール6		コミュニティービジネスと中間組織の役割
事前準備	事前に配布の資料を読み、北海道におけるコミュニティービジネスの現状と可能性について理解しておく。	
第11時限	具体的な経営事例の紹介(スポーツか観光)	
ゲストスピーカーによるコミュニティービジネスの講義を通して、コミュニティービジネスの意義や課題、地域活性化の可能性などについて学ぶ。		
第12時限	地方における中間組織の役割	
前回の宿題(身近なソーシャルビジネス)についての発表と意見交換を通して、ソーシャルビジネス・コミュニティービジネス(CBSB)の本質を理解するとともに、具体的なCBSBの事例、特に、近年、地方での「地域おこし協力隊」のCBSBの成功事例や官民協働での「まちづくり会社」や「地域商社」による“地域経営”の実例などから、これらビジネスのポイントを理解する。		
復習	日本にとって大きな課題である人口減少社会が地域にもたらす課題について考察する。	

モジュール 7		地域経営
事前準備	最終課題「RESASなどを活用した地域課題の特定とその解決のためのアクションプラン」に向けて、対象地域の選定とRESASの予習をしておく。	
第13時限	人口減少社会がもたらす諸課題とその対応	
<p>人口減少社会がもたらす諸課題について議論し理解を深めるとともに、それに対応するための基本的な方向性、更には、地域経営の必要性を理解する。</p>		
第14時限	地域経営の具体的な内容と北海道におけるモデル事例	
<p>地域主体の地域経営の具体的な内容、特に、枝廣淳子著「地元経済をつくり直す」から域内経済循環の必要性を理解する。また、下川町やニセコ町など具体的なモデル事例から、ビジネス視点からの地域課題の取り組みの必要性、取り組むべき課題、行政とコミュニティービジネスとの連携などについて学ぶ。</p>		
復習	RESASなどのデータを用いて、予め選定した地方自治体の地域課題を特定し、その解決に向けたアクションプランを作成する。次回の授業での発表に向けて、パワーポイントでデータを用いた説明資料を作成する。	

モジュール 8		最終課題（地域課題解決のためのアクションプラン）の発表
事前準備	前回の復習と同様	
第15時限	地域課題解決のためのアクションプランの発表	
<p>各自、具体的な地域課題解決のためのアクションプランを発表し、相互にコメントする。</p>		
復習	各自、最終的に作成したアクションプラン（最終成果）を提出する。	